

公開セミナー

# 世界からみた静岡県の人口と社会

## —人口・災害・産業—



### プロフィール



きとう ひろし  
**鬼頭 宏**

●静岡県立大学 特別顧問  
●上智大学 名誉教授

1947年長泉村(現、長泉町)生まれ。慶應義塾大学経済学研究科修士課程修了。慶應義塾高等学校教諭、上智大学経済学部教授を経て静岡県立大学学長(2015～2021年)。専門分野は歴史人口学、経済史。著書に『人口から読む日本の歴史』、『日本歴史 19 文明としての江戸システム』、編著に『静岡県史別編4人口史』など。日本生活学会今和次郎賞(2000年)、日本人口学会普及奨励賞(2010年)、歴史地理学会功労賞(2021年)を受賞。



よもだ まさひみ  
**四方田 雅史**

●静岡文化芸術大学文化政策学部 教授

1972年生まれ、埼玉県出身。早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程満期退学、博士(経済学)。日本学術振興会特別研究員、早稲田大学政治経済学術院助教などを経て現職。専門は経済史・産業史。とりわけ近代期の産業に関わる経済制度の日本・中国比較、経済交流史などを研究。著書としては『日中比較産業史—取引慣行と制度に見る戦前期日中経済の特質』、『地域と越境—「共生」の社会経済史—』(共著)ほか。



おかむら たつお  
**岡村 龍男**

●豊橋市図書館 学芸員  
●NPO法人歴史資料継承機構 理事

1984年静岡市生まれ。駒澤大学大学院博士後期課程単位取得退学。埼玉県立文書館、静岡市文化財課、島田市博物館を経て、2021年から豊橋市図書館学芸員。NPO法人歴史資料継承機構理事も務め、県内外で歴史資料の調査保存活動を行っている。日本近世史専攻。研究テーマは、駿府を中心とした地域社会の展開、茶生産・流通と地域社会など。静岡市と島田市では、戦国大名今川氏や刀剣に関する展示も担当。著書に『渋沢栄一と静岡』(静岡新聞社、2021)。



あわくら だいすけ  
**栗倉 大輔**

●静岡県立大学グローバル地域センター 特任助教  
●帝京大学経済学部 講師

1984年静岡市清水区出身。2015年中央大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。専攻は日本経済史、日本産業史で、近代日本の茶業史を中心に研究を進めている。また、茶業史に関係する資料の収集・保存活動にも積極的に取り組んでいる。近年では、茶の輸出だけでなく大豆の輸入の動きも視野に入れながら、戦前期清水港の貿易に関する分析も行っている。著書に『日本茶の近代史—幕末開港から明治後期まで—』(蒼天社出版、第28回茶道文化学術奨励賞受賞作)。